

富山県感染症発生動向速報

(2025年第28週分・7月7日～7月13日)

■今週の主な動向

○百日咳の患者が今週 22 例（2025 年累積 459 例）報告されました。

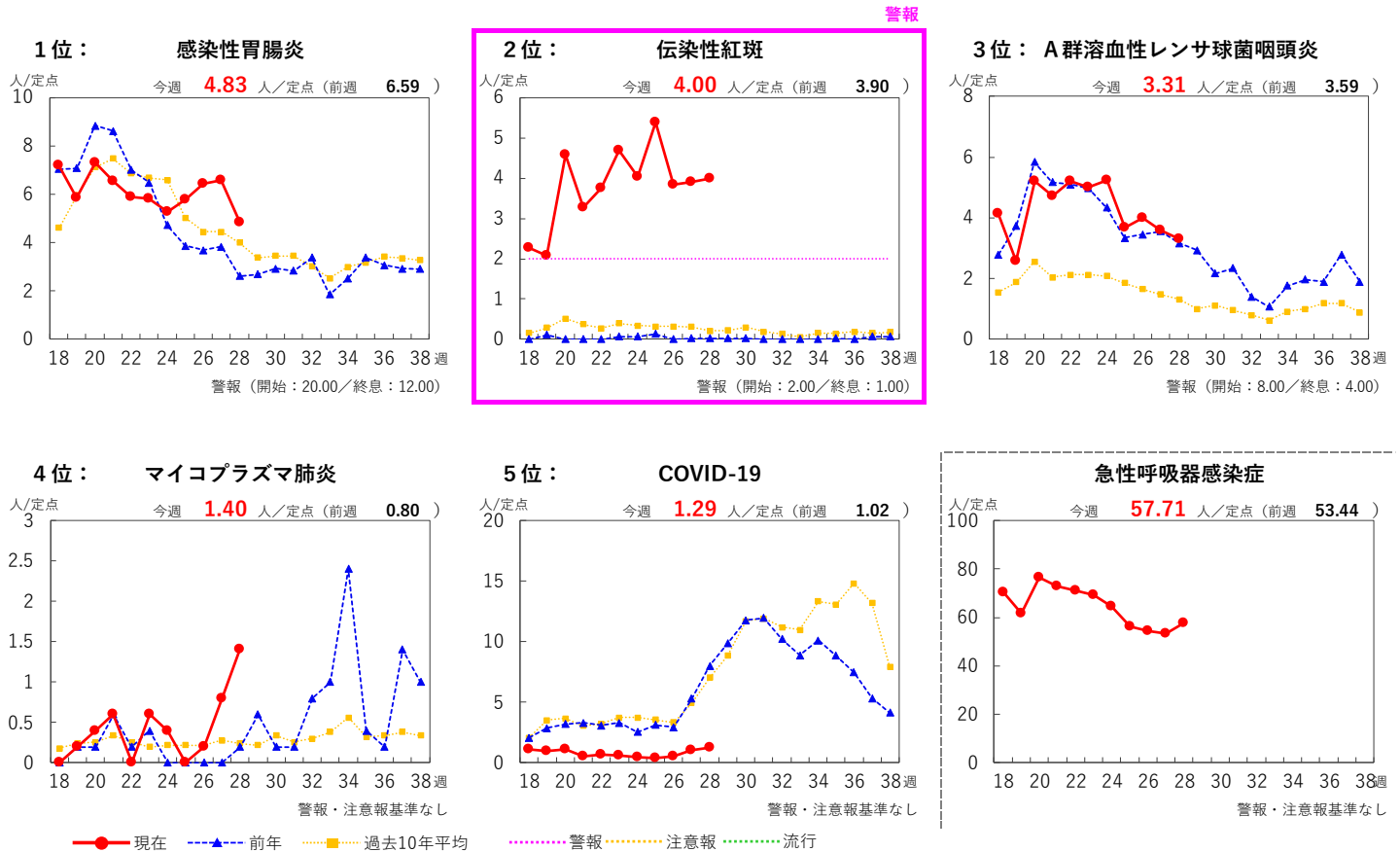
10～14 歳の小学校高学年～中学生を中心に百日咳患者の報告が続いています。乳児（特に新生児や乳児早期）では重症化しやすいことから、同居する家族からの感染には注意が必要です（[第 23 週インフォメーション参照](#)）。

○伝染性紅斑の報告が多い状況が続いています。

伝染性紅斑の報告数が、第 15 週から警報開始基準値（2.0 人/定点）を超えた状況が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので注意が必要です（[第 17 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患 + 急性呼吸器感染症（第 28 週・7/7～7/13）



厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#b1>

■全数報告の感染症

二類感染症 結核 4件 (①20歳代、男性 ②30歳代、男性 ③30歳代、女性 ④30歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 1件 (60歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 百日咳 26件 (①～④全て第27週診断分 ①10歳未満、女性 ②10歳代、男性 ③10歳代、女性 ④70歳代、女性 ⑤～⑧全て10歳未満、男性 ⑨10歳未満、女性 ⑩～⑬全て10歳代、男性 ⑭～⑯全て10歳代、女性 ⑰～⑲全て10歳代、女性 ⑳～㉓全て40歳代、女性 ㉔50歳代、男性 ㉕50歳代、女性 ㉖70歳代、女性)





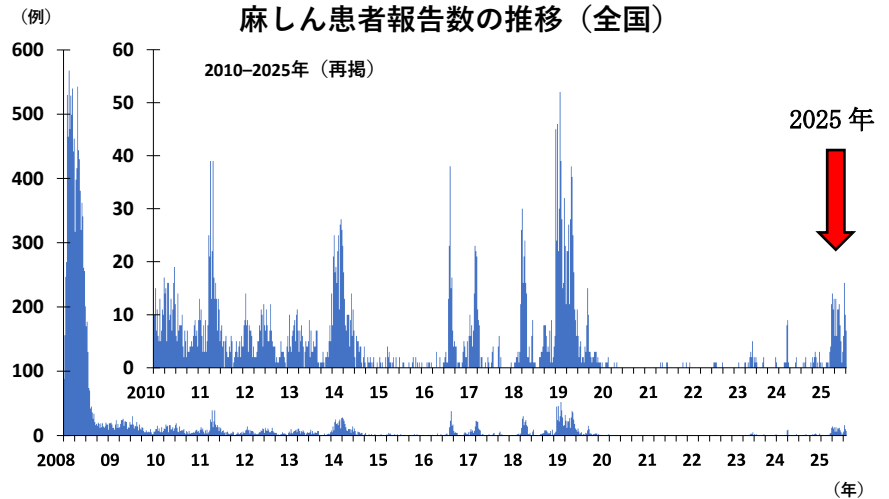
麻しん（はしか）拡大中 予防接種歴の確認を！

《インフォメーション》

●麻しん

麻しんは、麻しんウイルスによる急性感染症です。麻しんウイルスは空気感染することから高い感染力を示します。2006年から1歳時と6歳前後に2回の麻しん含有ワクチンの接種が開始されました。また、2008年から5年間、中学1年、高校3年生相当時に2回目の麻しん含有ワクチンを接種したことで、2009年以降、全国の麻しん患者報告数は大幅に減少しました（図）。この状況から、2015年にWHOは日本が麻しんの排除状態であると認定しました。2022年度にはほぼ全ての年齢層で概ね95%以上の抗体保有率が維持されています。2020～2022年には新型コロナウイルスパンデミック期間中の水際対策等により報告数が減少しました。対策緩和後の2023年には年間報告数は28例と増加し、2025年には第8週以降に報告数がさらに増加し、第27週時点で175例が報告されています（図矢印）。感染者の中には、ワクチン未接種もしくは接種不明者が多く含まれています。また、推定感染地域「国外」及び「国内または国外」の国別報告数において、ベトナムが最多となっています。富山県内では、2020年以降麻しん患者の報告はありませんが、今後の麻しんの発生動向には注意が必要です。

麻しんの初期症状には発熱や咳・鼻水などの風邪症状や、目の充血、関節痛などがあります。一旦熱が下がった後、再び高熱が出ると同時に全身に発疹が出現し4～5日高熱が続きます。潜伏期間は10～12日程度です。風邪症状が出現する1日前から解熱後3日程度の期間は他人にうつす可能性があります。麻しんを疑って医療機関を受診する場合は、あらかじめ電話の上医療機関の指示に従って受診してください。その際には公共交通機関の利用を避け、自家用車等で受診してください。麻しんの予防方法は、ワクチン接種をすることです。麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は定期接種として予防接種法で定められています。2回のワクチン接種歴がある場合は、高い確率で感染を防ぐことが可能です。麻しんの罹患歴、ワクチン接種歴がない方は、かかりつけ医にご相談の上、ワクチン接種をご検討ください。



定期接種の対象者（第1期：1歳児、第2期：小学校入学前1年間の小児）*は、ワクチン接種を忘れずに！

※MRワクチンの偏在等により令和6年度中に接種ができなかった方について、接種期間が2年間（令和7年4月1日から令和9年3月31日まで）延長される場合があります。



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第28週 2025年7月7日～2025年7月13日）

分類	疾患	今週報告分（第28週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核				3	1	4	5	1	10	9	32	57	
	（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1	1	2	4		7	6	19	36	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1			2	
四類感染症	E型肝炎									3			3	
	A型肝炎								1	1			2	
	重症熱性血小板減少症候群（SFTS）									1			1	
	デング熱									1			1	
	レジオネラ症					1	1		1	2	1	7	11	
五類感染症	アメーバ赤痢									1		1	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									4		5	9	
	急性脳炎									1	1		2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2		4	7	
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1	
	ジアルジア症										1		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	3	14	30	
	水痘（入院例）							1		1			2	
	梅毒							2	1	3	1	17	24	
	百日咳		4	4	1	13	22	21	102	96	18	222	459	
	風しん										1		1	
	急性呼吸器感染症（ARI）定点 （48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	310	204	933	198	1,125	2,770	4,345	3,890	15,080	3,380	18,500	45,195
			44.29	40.80	71.77	28.29	70.31	57.71						
インフルエンザ			1				1	928	858	1,650	976	1,877	6,289	
			0.20				0.02							
小児科定点 （29定点）	COVID-19	10	7	14	16	15	62	870	350	959	664	837	3,680	
		1.43	1.40	1.08	2.29	0.94	1.29							
	RSウイルス感染症	1		1		13	15	29	24	112	37	196	398	
		0.25		0.13		1.30	0.52							
	咽頭結膜熱	1		8	1	2	12	60	27	243	4	70	404	
		0.25		1.00	0.25	0.20	0.41							
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2		35	3	56	96	115	220	1,255	167	1,727	3,484	
		0.50		4.38	0.75	5.60	3.31							
	感染性胃腸炎	25	1	15	7	92	140	780	533	1,344	446	3,532	6,635	
		6.25	0.33	1.88	1.75	9.20	4.83							
	水痘		9			3	12	5	61	31	16	251	364	
			3.00			0.30	0.41							
	手足口病		3	1	1	4	9	2	5	26	6	21	60	
			1.00	0.13	0.25	0.40	0.31							
伝染性紅斑	7	20	21	10	58	116	75	222	561	96	832	1,786		
	1.75	6.67	2.63	2.50	5.80	4.00								
突発性発しん		2	5		6	13	3	14	80	20	73	190		
		0.67	0.63		0.60	0.45								
ヘルパンギーナ	1	1	1		8	11	18	2	12	1	27	60		
	0.25	0.33	0.13		0.80	0.38								
流行性耳下腺炎					1	1	2	8	6	8	15	39		
					0.10	0.03								
眼科定点 （7定点）	急性出血性結膜炎									4	95		99	
	流行性角結膜炎		1	4			5	1	1	21	1	2	26	
		1.00	2.00			0.71								
基幹定点 （5定点）	細菌性髄膜炎										1		1	
	無菌性髄膜炎										1		1	
	マイコプラズマ肺炎	1		1	3	2	7	17	8	22	20	6	73	
		1.00		1.00	3.00	2.00	1.40							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）									5			5		
入院サーベイランス （5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）							56	21	46	68	51	242	
	COVID-19による入院患者	1		1	2	5	9	77	73	53	115	196	514	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9/2～）の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（2025年6月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		6月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			1		6	7	1		11		39	51
				0.33		1.50	0.70						
	性器ヘルペスウイルス感染症					7	7		6	1		33	40
						1.75	0.70						
	尖圭コンジローマ			1		4	5			1	3	10	14
				0.33		1.00	0.50						
	淋菌感染症					3	3			1		8	9
						0.75	0.30						
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		5	3	4	13	8	6	20	10	29	73
		1.00		5.00	3.00	4.00	2.60						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							1				1	2

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。